

# 平成30年度施設関係者評価報告書

学校法人 増田学園  
認定こども園今川幼稚園

学校法人増田学園 認定こども園今川幼稚園は、幼保連携型認定こども園となり4年目をむかえました。園の体制も整い、園児たちも健やかに育っています。しかし、新制度自体はまだまだ道半ばのようで、来年度（令和元年度）には保育料の無償化も始まり、ますます制度が複雑になってまいります。

園を取り巻く全ての人たちが笑って過ごせる制度作りを切に願うばかりです。

さて、このたび、教育・保育理念、教育・保育目的等をはじめとする教育・保育及び認定こども園運営について自己点検・自己評価を実施し、また施設関係者評価委員会を設置し、当園に関連する保護者・卒園生の方々や教育関係者の皆様より当園の学校教育・保育及び認定こども園運営に対し、幅広くかつ的確なご意見、ご指導を賜り「平成30年度 施設関係者評価報告書」を作成し、当園のホームページに公表いたしました。

頂戴いたしましたご意見等につきましても「平成30年度 施設関係者評価報告書」としてご報告させていただきます。

今後とも、「認定こども園今川幼稚園」をよろしくお願い致します。

令和元年6月21日  
学校法人増田学園 認定こども園今川幼稚園  
前園長 増田純子

## 平成30年度施設関係者評価報告書概要

### 1. 認定こども園教育・保育目標

当園では【日々の園生活を通して確かな「生きる力」をつける】を教育・保育目標に掲げ、今までの3～5歳の3年間【教育】だけではなく、0～5歳の6年間【教育・保育】を通して、多種多様な文化・社会で生き抜く土台作りをおこなう。

- ① 健康で丈夫な体づくり
- ② 自分のことは自分で出来るようになる
- ③ 自分で考えて行動していく力を身につける
- ④ コミュニケーション力を身につける
- ⑤ 音楽・造形・知育・英語・体育などを通して豊かな感性を育てる。

### 2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

- ① いろいろな取り組みの中で、0～5歳児の交流を通して、子どもたち同士で学びを見つけ、教えあい、やさしさやコミュニケーション力を育む
- ② インクルーシブ教育を柱に、個人に対応できるよう全教員が教育・保育の向上に努める。
- ③ 避難訓練・消防訓練といった災害に対する訓練の強化をおこなう。
- ④ 0～2歳児の安全面の充実を図る。

### 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	結果	理由
① いろいろな取り組みの中で、0～5歳児の交流を通して、子どもたち同士で学びを見つけ、教えあい、やさしさやコミュニケーション力を育む	5	昨年同様、充実した縦割りの取り組みを行うことが出来た。3歳児が0、1歳児に向き合うことで相乗効果が生まれ、3歳児はやさしさや譲り合う心、また自分たちが低年齢児にお手本を見せてあげないといけないという気持ちや、教えてあげないといけないという責任感が育まれた。
② インクルーシブ教育を柱に、個人に対応できるよう全教員が教育・保育の向上に努める。	5	特別支援に関わる園外研修に積極的に参加し、発達障害・知的障害などの知識を深め、園内研修では実際に障害を持ったこどもの目線を体験できる教材などを用いて勉強をおこなった。つまずきのある部分は個性と捉え、共に個性を尊重しあえるクラス運営が出来た。今後もより一層の情報共有、特別支援児への理解、特にハード面の配慮を心掛けていきたい。
③ 避難訓練・消防訓練といった災害に対する訓練の強化をおこなう。	4	1歳児は自力で避難をすることが難しいので、状況に応じて、教職員が対応する役割を決めた。昨

		年同様の課題としては、防犯訓練が少ないので、積極的に取り入れていきたい。また、救命救急の研修も積極的に取り入れていきたい。
④ 0～2歳児の安全面の充実を図る。	4.5	全保育教諭の0～2歳の保育に対する意識も高まってきた。午睡時や食事の時の安全面に気を配ることが大分できるようになってきた。引き続き情報共有をおこない、環境面・保育面で安全に配慮していきたい。

#### 4. 施設評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結 果	理 由
4.5	全教職員が認定こども園におけるそれぞれの役割を自覚し、考え、行動できるようになってきた。特に、3号認定こどもに対する、保育はもちろんのこと教育面のカリキュラムも充実してきた。特別支援教育においても昨年から引き続き、インクルーシブ教育を基本とし、様々な個性をもった子供たちがともに共感しあえる環境作りを行うことができた。今後は今まで以上に、ソフトとハード両面で安全に留意した取り組みをおこなっていききたい。

#### 3. 4の評価結果の表示方法

5	十分に達成できている
4	達成できている
3	取り組んでいる
2	取り組んでいるが、十分な結果が出ていない
1	取り組んでいない

#### 5. 施設関係者委員会により評価・意見

出席委員：卒園生1名・保護者2名・評議員1名・園長・理事長（計6名）

幼保連携型認定こども園へ移行して4年目を迎え、教育・保育両方のニーズにお応えいただき、「幼稚園」時代の質をそのままに0～5歳児がいつも笑顔を過ごしていることにとっても感謝しております。次年度も引き続き、質の高い教育保育の提供をお願い申し上げます。という意見をいただき、自己評価についてもおおむね良好な運営がなされているとの評価をいただきました。来年度は園長が交代することもあり、現状の教育・保育を担保しつつ、さらなる向上をお願いしたいとの意見もいただきました。